

# 2015 Civil G7 Dialogue 参加報告書

(特活)BHN テレコム支援協議会  
プロジェクト・コーディネーター 玉木 杏奈

## 1. イベント概要

2015年4月20日にドイツ・ベルリンで“Civil G7 Dialogue”が開催され、計183名が参加をした。当ダイアログは、2015年4月7、8日にドイツ・バイエルン地方（オーストリア国境付近）で開催されるG7サミット（金融・世界経済に関する首脳会合）に先駆け、ドイツ政府から国際NGOとG7アジェンダについて議論を行う包括的な場を設けて欲しいとの申し入れをドイツ市民社会側が受けたことで、実現した。市民社会側の主催団はVENRO、Garman NGO Forum on Environment and Developmentの2団体である。

10時～17時半の時間帯で開催され、4つのパネルとテーマ別セッション（6テーマ）



メルケル首相（中央）との対話を行ったパネル3の会場の様子

で構成された<sup>1</sup>。最も注目を浴びたのは、メルケル首相が参加した第4パネルで、会場は参加者とメディアで満場となった（写真左）。

参加者の多くがドイツをベースとした団体<sup>2</sup>に所属しており、その他アメリカ、イギリス、インド、カナダ、ケニア、日本、パキスタン、フラン

ス、ベルギー、南アフリカからそれぞれ数名の参加者が見られた。What World StrategiesのKelいわく、今回主催した2団体はドイツ国内の団体を中心に声をかけ、海外からの招聘は特に積極的には行わなかったとのこと。

## 2. 日本からの参加とその目的

今回のイベントには日本から以下の3名が出席した。

- ・(特活) 国際協力日本NGOセンター(JANIC) 事務局長 定松 栄一
- ・(特活) ワールド・ビジョン・ジャパン 支援事業部アドボカシー課課長 柴田 哲子
- ・(特活) BHN テレコム支援協議会／動く→動かす 玉木 杏奈

<sup>1</sup> 添付のプログラム参照

<sup>2</sup> 添付の加者リスト参照

来年2016年G7/8の議長国が日本となることから、2014年10月末に開催された「ドイツG7戦略計画会議<sup>3</sup>」参加以降、ドイツ政府ならびにドイツ市民社会の動きを追いながら、2016年のG7/8に向けた情報収集を行ってきた。今回のダイアログはG7サミットと並行して開催されるいわゆる「Civil G7」に相当するものであり、来年の議長国である日本の市民社会代表として、JANICの定松事務局長が最後のセッションに登壇した。

ダイアログ参加の目的は以下の通り。

- ドイツG7サミットに関する最新情報の収集
- ドイツおよびその他G7国とのネットワークの構築
- 2016年日本でのG7/8に向けたレッスンの得とく
- 現地での日本政府の関心事項の共有

### 3. ダイアログ内容報告

当ダイアログはあくまでドイツ政府側との「対話の場」を持つことを目的としており、G7アジェンダに直接影響を与えることを目的とした場ではないことが、参加を通じ判明した。ドイツG7戦略会議開催以降、最も動きが活発な保健ワーキンググループ(WG)に参加しこれまで活動や議論を追ってきたが、この保健WGもダイアログ当日の朝に1時間ほど進捗状況の共有の為に打ち合わせを行ったのみで、ダイアログに向けた対策や戦略などが話し合われることはなかった。

従って、通常サミット開催の2か月前に開催されるこのCivil G7は、ドイツ政府と市民社会が共同で開催する、「政府が市民社会の声を聞く（アジェンダへの反映の可能性は非常に低い）」「市民社会の士気を高める」為のイベントという印象であった。共催ということもあり各セッションのパネリストにはドイツ政府と市民社会の両方が登壇した。

#### (1) パネル1: 挨拶

ドイツG7サミット開催地バヴァリア市長、市民社会代表としてVENROとGarman NGO Forum on Environment and Development、そしてドイツ首相G7/20代表の計4名がそれぞれ挨拶のスピーチを行った。

G7/G20代表は、ドイツ政府のアジェンダとして、保健、女性・子ども、海洋資源（日本と中国についても言及）、サプライ・チェーン、資源の効率活用などの重要性に触れるとともに、ポスト2015やCOP21を視野に入れたサミット進行を行う旨を述べ



ドイツ首相 G7/20 代表の Roller 氏

<sup>3</sup> ドイツG7戦略会議については、次のサイトを参照：(特活)BHNテレコム支援協議会ホームページ「2015年ドイツG7に向けた市民戦略会議に参加」<http://www.bhn.or.jp/official/archives/7945>

た。

## (2) パネル2: G7 サミット市民社会の期待と批判、見通し

Council of Canadians の Maude Barlow 氏と、BOND の Ben Jackson 氏が登壇。Barlow 氏は自身の専門分野である、グローバル企業の公共資源独占などをカナダの例を中心に述べた。「企業の協力・参加」という名のもと開発分野でも「ビジネスフレンドリーなくみ」



BOND の Jackson 氏 (左) と Council of Canadians の Barlow 氏 (右)

が頻発しており、公共資金が一部の企業に大量に流れている点を指摘し、さらに農業と食糧についても、政府による政策の押しつけでなく、現地の特徴に合った持続可能な生産方法を採用するべきであると述べた。

Jackson 氏は、ドイツのアジェンダ全体を網羅する形でそれぞれの現状や課題を説明した。Post2015 と COP21 の観点からもドイツ G7 サミットは非常に重要な位置にあり、成長のみを目指すのではなく、開発途上国の抱える問題の根底的解決も重要である旨を述べた。

## (3) テーマ別セッション：気候とエネルギー

テーマ別セッションでは、グローバル経済と財政構造、気候とエネルギー、海洋、保健、女性の経済エンパワメント、農業と栄養の 6 つの部屋に分かれ、それぞれパネリスト 3~5 名が情報を提供し質疑応答を行った。保健に柴田氏、女性の経済エンパワメントに定松氏、気候とエネルギーに玉木が出席した。ちなみにこれら各セッションの報告は、当ダイアログ内では共有されなかった。

気候とエネルギーのセッションには、CARE International、CAN Network、ドイツ環境自然保護原子力安全連邦省、ドイツ経済協力開発連邦省、から 4 名 (1 名欠席) がパネリストとして登壇。

CARE International の Harmeling 氏は気候変動保護に対するさらなる取り組みが必要であることを強調し、炭素除去、石炭燃料の使用禁止、再生エネルギーの活用を訴えた。また各国 ODA の 0.7% を開発資金に充て、開発途上国を中心とした脆弱性の高い人々に対する気候変動適応のサポートを強化すべきであると述べた。

CAN Network の Hmaidan 氏は、G7、Post2015、COP21 の揃う 2015 年は開発分野でのマイルストーンになること、気候に関する現在の数値を改善するメカニズムを構築する大きなチャンスであること、また気候変動レジリエントな環境・体制作りのための資金確保が重要であると述べた。

ドイツ環境自然保護原子力安全連邦省の Knill 氏は、最初に市民社会の声を聞き、G7 の交渉の場に届けることはできるが、G7 のプロセスとメカニズムの都合上、それがどれほど考慮してもらえるかは断言できないと述べた。また、途上国における気候変動適応に対しについてはドイツ政府も力を入れており、気候変動保険の為に官民資金投入が今後重要となると述べた。



「気候とエネルギー」セッション会場の様子

さらにドイツ経済協力開発連邦省の Schope 氏も、気候変動のリスク管理のためにも保険が重要であり、民間セクターを中心としたグローバル・アライアンスにも効果が期待できると主張。また日本の原発事故を例に再生エネルギーへの転換が重要であり、ウクライナを含む東ヨーロッパの国の大半は 1 つのエネルギーに依存しているため、再生可能エネルギーなどその他のエネルギーの導入・技術開発も必要であると述べた。

#### (4) パネル 3: メルケル首相との対話



パネル 3 のパネリスト達。左から 3 番目がメルケル首相

会場は参加者とメディアで溢れ満員となる中、政府関係者とガードマンら計 10 名ほどに囲まれメルケル首相が会場入りした。彼女はスピーチの中で、来年の TICAD 開催を前にアフリカの抱える課題解決の重要性、特に保健分野では近年のエボラや AMRs の問題に触れ保健制度の強化<sup>4</sup>が非常に重要であると述べた。その他、サプライ・チェーン、途上国を中心とした女性エンパワメント、気候変動、海洋資源、Post2015 や COP21 を視野に入れた環境・開発分野への資金投資に関しても触れた。

<sup>4</sup> 保健 WG の NGO らが最も強く主張しているのがこの Health System Strengthening。メルケル首相個人は非常に高い関心を持つが、ドイツ G7 のアジェンダ内にこの言葉が入るかは未定。NGO らは引き続きアドボカシーを続けている。

パネリストにはメルケル首相に加え、教会中央委員会世界協議会(ケニア)の Abuom 氏、Council of Canadians の Barlow 氏、VENRO の Bornhorst 氏、Garman NGO Forum on Environment and Development の Schonauer 氏が登壇した。

当パネルで特に印象的だったのは、ケニアの Abuom 氏の発言で、G7 アジェンダのそれぞれの課題ももちろん重要だが、汚職の問題をなくさない限り、途上国政府の政策転換は難しいと指摘。また保健分野では地域の現状に見合った保健制度強化が重要であり、地域の人たちの声を聞いて欲しい、そのためにも地域の人たちの参加が重要と当事者の立場となり意見を述べた。また女性のエンパワメントには、男性の理解と協力が何よりも重要でありこれらを積極的に行っていくべきであると主張した。

Barlow 氏は、自由貿易や官民パートナーシップを通じ一部の企業に富が集中し、近年の貧富の差拡大は深刻になる一方。政府は開発資金の使い方をしっかりと見極める必要があり、なにより現地の人々の声に耳を傾けるべきだと主張した。

その他、食の安全保障、エコロジカル・フットプリント、サプライ・チェーンに対するしっかりとしたモニタリングの必要性や、化石燃料の使用を減らす取り組みが重要であることが、VENRO と German Forum から述べられた。

#### (5)パネル 4: 今後の行方

最後のパネルには、InterAction の Ruthrauff 氏と 2016 年議長国となる日本の市民社会を代表し JANIC の定松事務局長が登壇した。まず定松事務局長から、予想される日本政府のアジェンダとして、①Universal Health Coverage、②Disaster Risk Reduction、③Women's Empowerment の 3 つをあげ、すでに日本政府が 4 月 1 日付で G7 準備室を開設した旨を共有した。

その後日本に対しては、中国などを巡る海洋資源の問題、原発と再生エネルギー、気候変動に対する日本政府の予算、障がい者の参加、TICAD (2016 年) の開催、グローバル・ファンド(世界エイズ・結核・マラリア対策基金)増資準備会議(2015 年 12 月)に関する質問がファシリテーターと会場か



最終パネリストの定松 JANIC 事務局長(左)と Ruthrauff 氏(右)

らあがった。原発問題については、現在の原発の現状、日本政府の意向、第 3 回世界防災会議での経験を共有。また障がい者の参画については、日本政府が障がい者の参画に力を入れている旨を述べた。グローバル・ファンドに関する質問については、ワールド・ビジョン・ジャパンの柴田課長が回答し、今年 12 月日本で増資準備会議が開催される為保健分野への増資額を増やす為にもドイツ G7 のコミュニケにその旨を反映させる必要がある旨、また日本国内でグローバル・ファンドのために活動する団体も複数あることから、その次

の増資会議に向けドイツとの連携も可能である旨を伝えた。

#### 4. 日本 G7/8 に向けた考察と課題

##### (1) 活動の目的・成果の検証

日本 G7/8 に向け活動を開始する前に、単なるイベントの実施に留まらないよう、活動の目的（目標）と成果を明確にする必要がある。政府アジェンダへの市民社会側の声の反映、Civil G7 への参加促進など、目的に対する成果とそれに対する指標なども同時に検討し、参



2016年 G7/8 に関する日本の取り組みについて語る定松 JANIC 事務局長



Global Fund に関する質問に答えるワールド・ビジョン・ジャパンの柴田アドボカシー課課長

加 NGO 間で共有する。また次回日本での開催の際の教訓として、活動終了後の評価をきちんと行っていく必要がある<sup>5</sup>。

##### (2) 活動開始時期とタイムライン

Inter Action（アメリカ）の John と What World Strategies（カナダ）Kel へのヒヤリングの結果、日本 G7/8 に対する準備は早ければ早いほど良いとのこと。Civil G7（ダイアログ）はあくまで NGO らの士気を高めることが目的であり、アジェンダへ影響を与えるには時期的に遅すぎる。それよりも重要なのは、前年 10 月末～11 月頃（Thanksgiving Day の前）に開催する、市民戦略会議である。

日本政府がアジェンダを形成する段階から働きかけを行うことにより、アジェンダに対し市民社会の声をより反映しやすい。また早い段階から日本のシェルパ・チーム<sup>6</sup>と対話を行い、信頼関係を築くことで、市民社会の声の反映や情報共有、Civil G7 のスムーズな開催などを行いやすくなる。

また、ポスト 2015 および COP2 後初の G7 であること、また 2016 年に TICAD の開催が予定されていることから、日本での G7/8 は注目度も高いことが予想される。シェルパ・ミーティングなどの G7 関連の会議に加え、こうした重要なイベントに配慮したタイムラインを検証しながら効果的なアプローチができるよう、計画を練る必要がある。

<sup>5</sup> Civil G7 Dialogue 終了後、VENRO からは終了後アンケートがメールで送られてきた

<sup>6</sup> 2015年4月1日に日本政府は外務省内に G7 サミット準備室を設置

### (3) 実施体制とアジェンダ

ドイツ G7 では、VENRO と The German Forum がコーディネーターとなりドイツ政府とのやりとりやイベントの主催を行っている。アジェンダ別に言えば、G7 戦略計画会議で選ばれた分野（保健、気候変動、税と資金、食の安全）ごとにワーキング・グループ(WG)が形成され、開催までの各国・分野・団体の活動情報の共有は、Google Group や電話会議を通じて行われている。それぞれの WG には主担当となる NGO が決められ、提言書の取りまとめなどを積極的に行っている。ただし、WG として活発に活動しながら政府への提言書などをまとめ提出していたのは保健分野のみで、その他の WG についてはダイアログ開催まで、あまり動きは見えなかった。

ドイツのこうした状況を観察しながら、日本開催に向け準備を行う際は、目的達成に最も有効と思われる体制を検討すると共に、参加する国内・海外 NGO の積極的な協力を促せるよう体制を整える必要がある。また幅広いサミット・アジェンダの中からアプローチを行う分野を計画的に絞り対応していくことも重要と思われる。

### (4) 参加

2014年10月末に開催した「ドイツ G7 戦略計画会議 (VENRO と The German Forum 主催)」を皮きりに、ドイツ市民 G7 サミットに対する働きかけを開始した。当会議の参加者も今回のダイアログ同様、大半がドイツの NGO であり、他国からの参加は非常にまれであった。声掛けの範囲は不明だが、渡航費用の負担なども行われなかったことから、同じヨーロッパに位置する近隣国からの参加も数団体に限られた模様。また前述の通り、今回のダイアログも他の G7 国 NGO への招待は積極的には行わなかった。会議もドイツ語を中心に開催され、「ドイツ政府とドイツ市民社会との対話の場」であった。

今後日本 G7/8 サミットに対する準備を行うにあたり、資金や体制などの条件にもよるが、どの範囲まで声をかけ参加を促すかも検討が必要である。また積極的な参加促進を行う場合、どのような形で他国の NGO を巻き込むか、参加のしくみや体制も同様に検討することが重要である。

以上



Invitation  
**Civil G7 Dialogue**

**organized by**  
**the Association of German Development and Humanitarian Aid NGOs (VENRO)**  
**and**  
**the German NGO Forum on Environment and Development**  
**in cooperation with the German G7 presidency**

Monday, April 20, 2015, 9:30 – 17:30  
Bavarian Mission to the Federal Government,  
Behrenstr. 21/22, 10117 Berlin

Dear Madam/Sir,

Germany took over the G7 presidency in June 2014. This year's summit will take place between 7 and 8 June 2015, at Schloss Elmau in Bavaria. Important issues will be discussed in a year during which new policies and new approaches to global challenges are needed.

VENRO and the German NGO Forum on Environment and Development have been invited by the German G7 presidency to organize an international forum for dialogue. Chancellor Dr. Angela Merkel has offered to meet representatives of international non-governmental organizations to discuss key G7 agenda issues as a part of a comprehensive dialogue with civil society.

The range of topics covered by this event varies from the role of the G7 in general and its role in the global economy to how it relates to the post-2015 agenda and many important topics concerned with sustainable development. For further details, please refer to the program attached below.

Your participation in this event would be very welcome, and we cordially invite you to take part.

For further inquiries, please contact Nina Schröder ([n.schroeder@venro.org](mailto:n.schroeder@venro.org)).

Yours sincerely,

Dr. Bernd Bornhorst  
Chairman, VENRO

Jürgen Maier  
Director, German NGO Forum  
on Environment and Development

## Programme

Facilitation: Jule Reimer – Journalist, Deutschlandfunk/Germany

<b>9:30 – 10:00</b>	<b>Registration opens</b>
<b>10:00 – 10:30</b> <b>Plenary</b>	<p><b>Welcome and Introduction</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Dr. Marcel Huber – Bavarian State Minister; Head, Bavarian State Chancellery/Germany</li> <li>▪ Prof. Dr. h.c. Christa Randzio-Plath – Vice Chairperson, VENRO/Germany</li> <li>▪ Jürgen Maier – Director, German NGO Forum on Environment and Development/Germany</li> <li>▪ Prof. Dr. Lars-Hendrik Röller – Personal G7/G20 Representative of the German Chancellor, German Chancellery/Germany</li> </ul>
<b>10:30 – 12:00</b> <b>Plenary</b>	<p><b>Panel: The G7 Summit 2015 – Civil society expectations, criticism and perspectives</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Maude Barlow – National Chairperson, Council of Canadians/Canada</li> <li>▪ Amélie Canonne – Chair, Association Internationale de Techniciens, Experts et Chercheurs/France</li> <li>▪ Ben Jackson – Chief Executive BOND/United Kingdom</li> </ul> <p>Topics to be discussed: role of the G7 and its member states in the global economy – do the G7 agenda and policies provide adequate solutions to the world’s crises? – the global economy and financial architecture between green growth and sustainable development: how does the G7 relate to sustainable development and the post-2015 agenda? – with respect to post-2015: fundamental principles, eradication of poverty and inequality domestically and globally, planet-sensitive development, the human rights based approach, national implementation, monitoring and review process, financing sustainable development – multilateralism and “club governance”</p>
<b>12:00 – 13:00</b>	Lunch Break
<b>13:00 – 14:30</b> <b>Meeting rooms</b> <b>1 – 6</b>	<p><b>Parallel Thematic Sessions</b></p> <p><b>1. Global Economic and Financial Architecture</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Markus Henn – Policy Officer Financial Market, WEED/Germany</li> <li>▪ Jürgen Maier – Director, German NGO Forum on Environment and Development/Germany</li> <li>▪ Dr. Holger Fabig – Head of Division "G7/G8, G20, Global Economy, Monetary and Currency Issues", Federal Ministry of Finance/Germany <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <u>Facilitation</u>: Dr. Klaus Schilder – Development Policy Officer, MISEREOR/Germany</li> </ul> </li> </ul> <p><b>2. Climate and Energy</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Sven Harmeling – Climate Change Advocacy Coordinator, CARE International/Germany</li> <li>▪ Wael Hmaidan – Director, Climate Action Network International/Lebanon</li> <li>▪ Norbert Gorißen – Head of Division “International Climate</li> </ul>

Finance, International Climate Initiative”, Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Building and Nuclear Safety/Germany

- Philipp Knill – Head of Division, Special Unit “Climate”, Federal Ministry for Economic Cooperation and Development/Germany
- Dr. Martin Schöpe – Head of Division “International Energy Policy, Multilateral Cooperation on Energy and Energy Cooperation with Industrial Countries”, Federal Ministry for Economic Affairs and Energy/Germany
  - Facilitation: Michael Kühn – Climate Expert, Welthungerhilfe/Germany

### **3. Oceans**

- Francisco Marí – Policy Adviser for agricultural products and fisheries, “Bread for the World”/Germany
- Dr. Monica Verbeek – Executive Director, Seas At Risk/Belgium
- Heike Vesper – Head of the Division of Oceans and Coastlines, World Wide Fund For Nature/Germany
- Heike Imhoff – Head of Division “Protection of the Marine Environment”, Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Building and Nuclear Safety/Germany
- Dr. Brigitte Schwadorf-Ruckdeschel – Head of Division “Law of the sea, foreign trade law“, Federal Ministry for Economic Affairs and Energy/Germany
  - Facilitation: Dr. Christoph Spehr – Board Member, Verein für Internationalismus und Kommunikation/Germany

### **4. Health**

- Renate Bähr – Executive Director, German Foundation for World Population/Germany
- Patrick Bertrand – Director, Global Health Advocates/France
- Dr. Tankred Stöbe – President, “Doctors without Borders”/Germany
- Dagmar Reitenbach – Head of Division “Global Health”, Federal Ministry of Health/Germany
- Thomas Staiger – Deputy Head of Division Health and Population Policy, Federal Ministry for Economic Cooperation and Development/Germany
  - Facilitation: Dr. Gisela Schneider – Director, DIFAEM/Germany

### **5. Women’s Economic Empowerment**

- Dr. Agnes Abuom – Moderator, World Council of Churches Central Committee; Executive Director, Taabco Reseach/Kenya
- Abia Akram – Chairperson, National Forum of Women with Disabilities; Cooperation Partner CBM/Pakistan
- Prof. Dr. h.c. Christa Randzio-Plath – Vice Chairperson, VENRO/Germany
- Dr. Katharina Spiess – Desk Officer, Division “Sustainable economic policy; financial sector”, Federal Ministry for

	<p>Economic Cooperation and Development/Germany</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <u>Facilitation</u>: Jeannette Böhme – Advocacy and Human Rights, medica mondiale/Germany</li> </ul> <p><b>6. Agriculture and Nutrition</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Ashish Gupta – Vice President, IFOAM Organics International – Asia/India</li> <li>▪ Bright Mbwana Phiri – Programme Coordinator, Commons for EcoJustice/Alliance for Food Sovereignty in Africa/Malawi</li> <li>▪ Marita Wiggerthale – Policy Advisor for global food affairs and agricultural issues, OXFAM/Germany</li> <li>▪ Dr. Heike Henn – Head of Division, Special Unit: “One World – No Hunger”, Federal Ministry for Economic Cooperation and Development/Germany <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ <u>Facilitation</u>: Stig Tanzmann – Senior Policy Advisor on Agriculture, „Bread for the World”/Germany</li> </ul> </li> </ul>
<b>14:30 – 15:00</b>	Coffee Break
<b>15:00 – 16:15</b> <b>Plenary</b>	<p><b>Discussion with German Chancellor Dr. Angela Merkel</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Dr. Agnes Abuom – Moderator of World Council of Churches central Committee; Executive Director, Taabco Research/Kenya</li> <li>▪ Maude Barlow – National Chairperson, Council of Canadians/Canada</li> <li>▪ Dr. Bernd Bornhorst – Chairperson, VENRO/Germany</li> <li>▪ Sebastian Schönauer – Steering Committee, German NGO Forum on Environment and Development/Germany</li> </ul>
<b>16:15 – 16:30</b>	Coffee Break
<b>16:30 – 17:30</b> <b>Plenary</b>	<p><b>Way forward</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ John Ruthrauff – Director, InterAction/United States of America</li> <li>▪ Eiichi Sadamatsu – Secretary General, Japan NGO Center for International Cooperation/Japan</li> </ul>

The conference will have simultaneous interpreting (English/German).

**Get-together:** invitation by Dr. Marcel Huber – Bavarian State Minister; Head, Bavarian State Chancellery/Germany

## Parallel Thematic Sessions

<b>Meeting room 1</b> <b>“Hall”</b>	<b>Global Economic and Financial Architecture</b> Topics to be discussed: financial market regulation, tax evasion and tax avoidance (BEPS), free trade agreements, deregulation and corporate accountability – growing inequality and what must be done against it – responsibility along global value chains: who benefits, and how to change them
<b>Meeting room 2</b> <b>“Schwaben”</b>	<b>Climate and Energy</b> Topics to be discussed: G7 impulses on renewable energy and climate risk management for developing countries, climate finance roadmap (divestment) in the context of G7 contributions to an international climate deal
<b>Meeting room 3</b> <b>“Berlin”</b>	<b>Oceans</b> Topics to be discussed: oceans as ecosystems and sources of food; overfishing and pollution, global ocean governance, mining and resource extraction
<b>Meeting room 4</b> <b>“Oberbayern”</b>	<b>Health</b> Topics to be discussed: increased investment in research and development in health tools (diagnostics, vaccines, prevention technology, drugs) to prevent poverty-related and neglected diseases; accessibility for all – public or private funding of medical research? – the role of pharmaceutical companies – treatments (including rehabilitation measures) of poverty related diseases; NTDs and the development of pediatric medicines (including GAVI and G8 Muskoka commitments) – intellectual property rights, trade policies and the pharmaceutical sector – growing resistance to antibiotics and its causes – accessible health systems strengthening (including financial investments in accessible health through existing and new mechanisms)
<b>Meeting room 5</b> <b>“Weinstube”</b>	<b>Women’s Economic Empowerment, including Women and Girls with Disabilities</b> Topics to be discussed: empowerment of employed and self-employed women – protection of working women from exploitative working conditions such as in the Bangladesh textile sector – social security mechanisms also for women working in the informal sector; gendered impact of G7 economic policies on women and men, impact of gender-based violence on women’s economic empowerment; access to financial and productive resources, markets, financial services; care economy, improved formal and vocational education/training for girls and women
<b>Meeting room 6</b> <b>“Staatsregierung”</b>	<b>Agriculture and Nutrition</b> Topics to be discussed: G8 New Alliance, its state of affairs and evaluation – seeds and who owns them – soil degradation and conservation – Green Innovation Centers – role of agribusiness in development cooperation and developing countries

## Organization

### 1. Registration

As spaces are limited, we invite you to fill out an application to attend this conference – **before 10 April 2015** at the latest (please [register here](#)).

We would like to draw your attention to the fact – and hope for your understanding – that participation in the event will only be possible with a binding registration confirmation.

In the case of queries with respect to the application, please contact Sabine Kirchleitner: [s.kirchleitner@venro.org](mailto:s.kirchleitner@venro.org)

Please note: on completion of this registration form, a security assessment will be undertaken by the German Federal Criminal Police Office (BKA).

### 2. Expenses

Any travel and accommodation costs are to be borne by the participants themselves.

**Civil G7 Dialogue, April 20, 2015 – Berlin**  
**Participants list**

	Last Name	Title	Given Name	Organization
1.	Abshagen		Marie-Luise	German NGO Forum on Environment and Development
2.	Abubakar-Funkenberg		Tanja	terre des hommes
3.	Aboum	Dr.	Agnes	Taabco Research and Development Consultants
4.	Akram		Abia	National Forum of Women with Disabilities
5.	Albrecht		Carolin	Global Poverty Project
6.	Alves		Marco	Action Against Aids Germany
7.	Averbeck	Dr.	Christiane	Klima-Allianz Germany
8.	Bähr		Renate Gertrud Maria	German Foundation for World Population
9.	Bandi-Phillips		Geeta	World Vision UK
10.	Barlow		Maude	The Council of Canadians
11.	Bauch	Dr.	Werner	Plan International Germany
12.	Ben Naoum		Fatiha	
13.	Benning		Reinhild	BUND
14.	Berner-Rodoreda		Astrid	„Bread for the World“
15.	Bernlöhr		Maren	GIZ AgenZ
16.	Bertram		Katri	Save the Children
17.	Bertrand		Patrick	Global Health Advocats
18.	Birnbaum		Sonja	Plan International Germany
19.	Blessin		Sandra	Agrar Koordination
20.	Böhme		Jeannette	medica mondiale
21.	Bornhorst	Dr.	Bernd	VENRO
22.	Burmeister		Marek	ASW
23.	Büttner		Malte Paul	CHANGE
24.	Campe		Sabine	SEEK Development
25.	Canonne		Amélie	AITEC
26.	Clausing	Dr.	Peter	México via Berlin
27.	Currah		Kel	What World Strategies
28.	Davis		Andrew	The Council of Canadians
29.	Dressino		Hildegard	Rotary International
30.	Drillisch		Heike	CorA – Corporate Accountability
31.	Ellis		Georgina	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development

32.	Eschke		Nina	German Institute for Human Rights
33.	Fabig	MinDir Dr.	Holger	Federal Ministry of Finance
34.	Fagan		Craig	Transparency International
35.	Farys		Jörg	DieProjektoren
36.	Fendel		Lukas	Universities Allied for Essential Medicines
37.	Figeczky		Gábor	IFOAM - Organics International
38.	Fischer		Lorena	World Future Council
39.	Fischer		Roger	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
40.	Fleckenstein		Martina	WWF Germany
41.	Frisch		Philipp	Doctors Without Borders
42.	Fürst		Barbara	Oxfam/Germany
43.	Geigenmüller		Maximilian	German Foundation for World Population
44.	Ghawami	Dr.	Kambiz	World University Service
45.	Gorißen	MinR	Norbert	Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Building and Nuclear Safety
46.	Groß	Dr.	Onno	DEEPWAVE
47.	Grotefendt		Nelly	German NGO Forum on Environment and Development
48.	Gupta		Ashish	IFOAM Asia/WHH
49.	Haarmann		Kerstin	Cum Ratione gGmbH - Gesellschaft für Aufklärung u. Technik
50.	Hack		Regina	Goethe-Universität Frankfurt am Main
51.	Hähnle		Joel	Evangelische Kirche in Deutschland
52.	Happe	Dr.	Kathrin	National Academy of Sciences Leopoldina
53.	Harmeling		Sven	CARE International
54.	Hartmann		Alessa	PowerShift
55.	Hasenkamp		Oliver	Pazifik-Netzwerk
56.	Hauschild		Tobias	VENRO
57.	Heil		Fritz	IG Bauen-Agrar-Umwelt
58.	Henderson		Robert	World Vision UK
59.	Henn		Markus	WEED
60.	Henn	RegDir'in Dr.	Heike	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
61.	Hermle	Dr.	Reinhard	Forum Eine Welt
62.	Hilary		John	War on Want
63.	Hildebrandt		Christiane	Klima-Allianz Germany
64.	Hmaidan		Wael	CAN International
65.	Hofstetter		Martin	Greenpeace
66.	Hoppe		Thilo	„Bread for the World“
67.	Huber	Dr.	Marcel	Bavarian Mission to the Federal Government
68.	Huynh		Duc-Hien	APCO Worldwide (on behalf of Rotary International)
69.	Imhoff		Heike	Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Building and Nuclear Safety
70.	Jackson		Ben	Bond
71.	Kahler		Tobias	ONE
72.	Katerla		Michael	VENRO
73.	Kepp		Claudia	Save the Children
74.	Kirchleitner		Sabine	VENRO

75.	Klein		Max	Stop-TB Forum
76.	Klenck		Cathrin	German NGO Forum on Environment and Development
77.	Klimisch		Jan-Thilo	Christoffel-Blindenmission
78.	Klostermann		Thomas	Change
79.	Knecht		Klaus	
80.	Knirsch		Marianna	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
81.	Knoch		Heiko	UN World Food Programme
82.	Koppe		Reinhard	AGRECOL/Eine Welt Forum (SPD)
83.	Körting		Claus	VENRO
84.	Kowalzig		Jan	Oxfam/Germany
85.	Kreischer		Stephan	Welthungerhilfe
86.	Kuehn		Michael	Welthungerhilfe
87.	Kühlen		Barbara	Oxfam/Germany
88.	Kurat		Anke	VENRO
89.	Landshöft		Frederik	Office Claudia Roth/Vice President of the German Parliament
90.	Lebherz		Ingrid	AWO International
91.	Loga		Denise	WWF
92.	Löschmann	Dr.	Heike	Heinrich Böll Foundation
93.	Luig		Benjamin	MISEREOR
94.	Maier		Jürgen	German NGO Forum on Environment and Development
95.	Marine		Michael	Sabin Vaccine Institute
96.	Massing		Armin	Forum Fairer Handel
97.	Meier		Marwin	World Vision Germany
98.	Meißner		Matthias	WWF Germany
99.	Menn	Dr.	Iris	Christoffel Blindenmission
100.	Merkelbach		Jana	International Civil Society Centre
101.	Mertens	Dr.	Anna-Maija	Transparency International Deutschland
102.	Minninger		Sabine	„Bread for the World“
103.	Mischo		Frank	Kindernothilfe
104.	Münchmeyer		Tobias	GREENPEACE
105.	Narmann	Dr.	Ruth	National Academy of Sciences Leopoldina
106.	Nashat		Bidjan	Save the Children Germany
107.	Neuwirth		Bastian	Oxfam/Germany
108.	Nooke		Günter	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
109.	Pforte-von Randow		Tobias	Germanwatch
110.	Phiri		Bright Mbwana	Alliance for Food Sovereignty in Africa
111.	Podlinski		Theresia Nicole	Katholische Landvolkbewegung
112.	Quistorp		Eva	Frauenumwelt und Friedensnetzwerk
113.	Radtke		Dinah Christine	Interessenvertretung Selbstbestimmt Leben in Deutschland
114.	Randzio-Plath	Professor Dr.h.c.	Christa	VENRO/Marie-Schlei-Verein
115.	Reimer		Jule Beate	Deutschlandfunk
116.	Reiners		Suleika	World Future Council

117.	Reitenbach	MinR'in	Dagmar	Federal Ministry of Health
118.	Retter	Dr.	Ralf	Federal Chancellery
119.	Richter		Emil	SEEK Development
120.	Rieppel		Leni	The Hunger Project
121.	Rietsch	Dr.	Britta Joséphine	GIZ
122.	Röller	MinDir Prof. Dr.	Lars-Hendrik	German State Chancellery
123.	Rosenboom		Jana	VENRO
124.	Roth-Dührkoop	Dr.	Michèle	Development and Peace Foundation
125.	Ruthrauff		John	InterAction
126.	Sadamatsu		Eiichi	JANIC
127.	Schäfer		Niklas Amani	Welthungerhilfe
128.	Scheffler		Katharina	Plan International Germany
129.	Scheid		Anke	VENRO
130.	Schilder	Dr.	Klaus	MISEREOR
131.	Schilling		Julia	Save the Children
132.	Schindler		Jörg	GIZ
133.	Schlicher	Dr.	Monika	Stiftung Asienhaus
134.	Schmutte		Caroline	Bill & Melinda Gates Foundation
135.	Schneider	Dr.	Gisela	DIFAEM
136.	Schönauer		Sebastian	German NGO Forum on Environment and Development
137.	Schöpe	RegDir Dr.	Martin	Federal Ministry for Economic Affairs and Energy
138.	Schreck		Riccardo	CHANGE
139.	Schröder		Nina	VENRO
140.	Schulte		Christiane	AWO International
141.	Schulte		Christiane	AWO International
142.	Schwadorf- Ruckdeschel	RegDir'in Dr	Brigitte	Federal Ministry for Economic Affairs and Energy
143.	Sehrbrock		Ingrid	CARE International
144.	Sheikh		Ayesha Raza Ahmed	National Forum of Women with Disabilities
145.	SHIBATA		Noriko	World Vision Japan
146.	Sonntag	Dr	Ralf	IFAW Internationaler Tierschutzfonds
147.	Spehr	Dr.	Christoph	fair oceans
148.	Spielmans		Heike	VENRO
149.	Spieß	Dr.	Katharina	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
150.	Steinicke	Dr	Henning	German National Academy of Sciences Leopoldina
151.	Stoebe	Dr.	Tankred	Doctors Without Borders
152.	Stolle		Christa	TERRE DES FEMMES
153.	Stolper		Ernst-Christoph	BUND
154.	Tamaki		Anna	GCAP JAPAN/BHN Association
155.	Tanzmann		Stig	„Bread for the World“
156.	Tennhardt		Thomas	Nature and Biodiversity Conservation Union Germany

157.	Todorovic		Marijana	German NGO Forum on Environment and Development
158.	Tuschen		Stefan	MISEREOR
159.	Ünlü	Dr.	Durmus	Allianz der öffentlichen Wasserwirtschaft
160.	Unselde		Liselotte	German League for Nature and Environment
161.	Urhahn		Jan	INKOTA-netzwerk
162.	van Buiren		Shirely	Transparency International / OECD Watch
163.	Vedder		Alois	WWF Germany
164.	Verbeek		Monica	Seas At Risk
165.	Vesper		Heike	WWF Germany
166.	Vollrath		David	Infoe/GegenStrömung
167.	von Borries		Bodo	VENRO
168.	Waffenschmidt		Christoph	World Vision Germany
169.	Wagner		Anja	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
170.	Weber		Paula Lilli	WEED
171.	Wedekind		Beate	TheNewAfrica
172.	Weidner		Christiane	MdJEV (Brandenburg)
173.	Weigt		Gabriele	Behinderung und Entwicklungszusammenarbeit
174.	Weinreich	Dr.	Sonja	„Bread for the World“
175.	Weischer		Lutz	Germanwatch
176.	Wesemann		Susanne	Handicap International
177.	Wichterich	Dr.	Christa	WIDE+
178.	Wieland		Kathrin	Save the Children Germany
179.	Wiggerthale		Marita	Oxfam/Germany
180.	Wilczek		Michaela	Federal Ministry for Economic Cooperation and Development
181.	Wilk		Martin	Bundestagsfraktion Bündnis 90/Die Grünen
182.	Wolf	Dr.	Simon	European Climate Foundation
183.	Wünsche		Nina	MISEREOR/VENRO

